

25年度中国ブロック会義開催報告

去る、10月12日（土）、麻布大学同窓会中国ブロック会議を鳥取県鳥取市で開催いたしました。各県からは支部長及び事務局長の9名が出席、同窓会本部からは事務局長の濱村嘉允氏に出席をいただきました。

まず、濱村事務局長から大学敷地内建物の設置場所の変更や食堂の新設等の説明を受けました。兼ねてから支部やブロックを通じて提案していた、麻布大学卒業生子女の受入れ制度については、平成26年度入試から導入という喜ばしい話を聞くことができました。

各県支部からは、会員数や活動状況、支部総会への出席率の向上策や年会費納入率の向上への取り組みについて報告を受けました。このところ、会員の高齢化や支部の先細り問題など少し暗い話題が続いていましたが、今回、平成25年度麻布大学祭に島根県支部が「島根和牛の炭火焼と特産品」を出店するという明るい話題も報告されました。

また、中国ブロック代表理事からは、麻布獣医学園創立125周年記念募金についての説明がありましたが、募金にあたっては、使用目的の明確化や募金に対する考え方について、もっと議論が必要ではないかという意見が出ました。

その他、11月3日に麻布獣医学会を山口県で開催することが決定しており、負担金の徴収額や宿泊等について議論がなされました。極力、開催県である山口県の負担を軽くするため、宿泊旅費は各支部負担し、学会当日は、各県支部が協力して、できることをお手伝いしようということで話はまとまりました。

（中国ブロック会議担当 鳥取県支部事務局 大下雄三）

